

お知らせ

貸借対照表等を公告しました

NPO法改正に伴い貸借対照表や事業報告書等を当法人のホームページに情報公開として掲載しました。



活動助成金を戴きました

(公財)大和証券福祉財団のボランティア活動助成金により、平成30年度のBLS授業普及拡大事業(無償枠)を実施させて戴きました。



助成金の贈呈を受ける
川崎理事長(2018年11月23日)

会員募集のお知らせ

一緒に活動してくださる方、この活動を応援してくださる方を募集いたします。

私達の仲間に入りませんか。また、小学校などのBLS授業のお手伝いをしてくださるスタッフを募集しております。

会員募集に関するお問い合わせは、下記へメール又はホームページをご覧ください。

E-mail : info@heartlife-fukui.com

会員になると、講習会無料・AED貸出優遇などの特典があります。

AED無料貸し出し

講習を受けた方を対象に、イベント時のAEDの無料貸し出しを始めました。貸し出し資格の有効期間は1年間です。

マラソン大会、アクアスロン、自転車レース、お祭り、スポーツ少年団の遠征時等にご利用いただけます。貸し出し出来る台数は2台のみですので、先着順とさせていただきます。ご連絡お待ちいたしております。

命のバトンの活動に賛同いただいている企業様

株池田大正堂	株長野ポンプ
石山総合解体株	株ヒロセ・ブランニング
M I クリエイト	株フィリップス・ジャパン
キャノンシステムアンドサポート株	福井フェニックスライオンズクラブ
株きんでん	株ホーコーズ
有坂井清掃	株宮永不動産
有TK保険	(五十音順 敬称略)

命のバトンスタッフのひとこと

今回は、BLS授業を受講した児童・生徒らの感想を少しでも多くの皆様方に読んでいただきたいとの思いから感想文の掲載紙面を増やしました。今後とももっともっと増やし子どもたちの素直な思いを皆様にお届けしていけばと思っています。

また、昨年の秋から、福井市内のコンビニエンスストアにAEDが設置されるようになりました。いい機会なのでAED紹介を掲載しました。(N)

平成22年からインストラクター補助として参加しています。街角でAEDのステッカーをよく見かけるようになり、高校生や大学生が「命のバトン」の授業を受けましたと声を掛けてくれるようになりました。(西)

年会費・寄付のお支払いに、クレジットカードがご利用いただけます!

今まで年会費のお支払いは、郵便局により振り込みいただく必要がありました。この度クレジットカード決済をご利用いただけるようになりました。

「命のバトン」(heartlife-fukui.com) web サイトより、『年会費・寄付金のお支払い』をクリックし必要事項をご入力ください。入力内容を命のバトンで確認後、インボイス(請求)メールをお送りいたします。

パソコン、スマートフォンのメールアドレスがご利用いただけます。



発行責任者



特定非営利活動法人 命のバトン

住所:〒918-8202 福井市大東1丁目11番18号

代表者:川崎 真弓

電話番号:090-7089-5958

E-mail: info@heartlife-fukui.com

<http://www.heartlife-fukui.com/>

発行日:平成30年12月

特定非営利活動法人 命のバトン ~命をつなぐ心を育てる会~

はあとらいふ

Heart Life



会報



8号

vol.8
2018年12月

ごあいさつ

日頃より、NPO法人命のバトンの活動に、ご理解とご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。さて、2009年5月にNPO法人を設立し、早いもので2019年に10年目を迎えようとしております。設立当時は、企業・団体様、一般市民等を対象に講習会を開催しておりましたが、最近では、小中学校における救命教育への関心の高まりとともに、BLS授業に毎年2,000名を超える児童・生徒が受講されるようになってきております。これも一重に、学校関係者はじめと皆様のご理解の賜物と心より感謝申し上げます。

2002年9月の悲しい出来事を“二度と繰り返さない社会にしたい！”との願いで取り組ませて戴いてきた学校BLS教育も、福井市においては漸く定着しつつあるように感じております。しかし同時に、教育の継続性という大きな責任も負っており、BLS授業の継続性と発展性を備えた組織づくりが喫緊の課題と考えております。

ようやく10年ですが、まだ未熟な法人です。今後とも原点の願いを大切に活動して参りたいと存じておりますので、何卒今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

理事長 川崎 真弓



BLS授業をおこないました！

平成29年度実施校

実施日	学校名	学年	受講者数
6月15日	鶴小学校	5・6年生	71名
6月16日	東藤島小学校	6年生	38名
6月20日	明新小学校	5年生	174名
6月22日	国見小学校	5・6年生	12名
6月23日	武生第一中学校	3年生	220名
6月26日	日新小学校	5・6年生	93名
6月26日	一乗小学校	5・6年生	12名
6月29日	清水西小学校	5・6年生	68名
7月 8日	酒生小学校	5年生	30名
7月13日	六条小学校	5・6年生	31名
7月13日	社南小学校	6年生	132名
8月 9日	武生第六中学校	教職員	13名
9月 1日	岡保小学校	5・6年生	34名
9月 8日	社西小学校	5年生	50名
10月24日	中藤小学校	6年生	129名
10月26日	宝永小学校	5年生	28名
10月30日	日之出小学校	5年生	55名
11月 1日	和田小学校	6年生	113名
11月 2日	旭小学校	6年生	24名
11月 9日	円山小学校	6年生	72名
11月 9日	河合小学校	5・6年生	62名
11月11日	今庄小学校	全学年	107名
11月14日	木田小学校	6年生	147名
11月14日	豊小学校	5年生	93名
11月16日	森田小学校	6年生	123名
11月24日	松本小学校	6年生	93名
1月26日	清明小学校	6年生	84名

平成29年度の
受講者数

計 2,108 人

平成30年度の
受講者数

計 2,013 人

平成30年度実施校

実施日	学校名	学年	受講者数
6月 3日	酒生小学校	5年生	66名
6月 5日	立待小学校	5年生	96名
6月14日	池田小学校	5・6年生	31名
6月15日	東藤島小学校	6年生	27名
6月19日	日之出小学校	5年生	55名
6月20日	明新小学校	5年生	135名
6月20日	麻生津小学校	6年生	60名
6月25日	日新小学校	5・6年生	95名
6月28日	清水南小学校	5・6年生	30名
6月29日	武生第一中学校	3年生	207名
7月10日	社南小学校	6年生	130名
7月12日	文殊小学校	5・6年生	48名
7月19日	円山小学校	5・6年生	196名
8月17日	川西中学校	教職員	15名
9月 6日	岡保小学校	5・6年生	38名
9月18日	社西小学校	5年生	55名
10月 4日	社北小学校	6年生	105名
10月18日	棗小学校	5・6年生	25名
10月23日	中藤小学校	6年生	141名
10月24日	和田小学校	6年生	105名
10月27日	旭小学校	5年生	28名
11月 9日	清水東小学校	5・6年生	40名
11月13日	木田小学校	6年生	169名
11月15日	長橋小学校	6年生	3名
11月17日	宝永小学校	5年生	36名
1月25日	清明小学校(予定)	5年生	77名

感想



NPO法人命のバトンは、小学校でのBLS(一次救命法)授業を実施しています。授業時間は各校のニーズに柔軟に対応できる様、45分(1時限)から、90分(2時限)までのプログラムを準備しております。

● 小学5年生 ● 小学6年生 ● 中学3年生 ● 教職員

今日は学習でAED、胸骨圧迫の説明などを聞いてAEDの使い方を覚えることが出来ました。また、胸骨圧迫の手のやり方などを教わり、しっかりと身に付けることができました。やり方を覚えるだけでなく、もし本当にだれかが倒れてしまった時はAEDを取ってきたり、胸骨圧迫をやったり、今日学んだことで人の役に立ちたいと思います。生きていくためには、みんなで協力するということを今日の学習で改めて感じました。これからも自分にできることを考えて素早くできるようにしたいです。

ぼくは昨日、命のバトンさんからAEDの使い方や、胸骨圧迫を教えてもらいました。胸骨圧迫で大事なのは、ちゃんと胸の真ん中を押すことです。AEDの使いかたは、まずバックを開けて機械の電源を入れて、しっかりと機械の言うことをきいて、パットに書いてある絵を見てその書いてある絵のとおりにはったら、またアナウンスを聞き、オレンジボタンを押してまた、胸骨圧迫を続けると言っていました。きのうはすごくいい体験ができました。ありがとうございました。



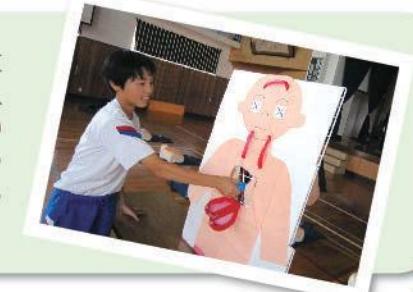
わたしは、心臓マッサージのやり方をはじめて知りました。意外とむずかしくて大変でした。それを8分くらい続けるのはとても大変で続けられないなと思っていました。でも、交代でやると、続けられると思いました。友達が意識をなくしたらしっかり対応できるようにしたいです。

わたしは、AEDを初めて使いました。もし人がたおれたら救急を呼んで助けたいと思います。わたしは人形相手だったからこういうのができたんだだと思います。それが人間だったらこわくてできないかもしれません。でも人を助けることはいいことだから胸骨圧迫をして人を助けたいと思います。こんな貴重な体験をさせていただけてありがとうございます。



ぼくは、AEDの使い方や、胸骨圧迫とか、聞いたことがあったけど、やり方はいまいち分からなかったので、とても勉強になりました。いざやるとなると、胸骨圧迫をした手がとても痛くて、むずかしかったです。自分一人では無理なので、応援を呼んで、協力しようと思いました。押すところとか、電気のシールなどを貼る場所が、とても難しかったです。もしそんなことが、起こつてしまったら、まず、大人を呼んで、AEDを持ってきて、しっかりと命を救えるようにがんばろうと思いました。

AEDは使ったことはないのでとてもいい経験になりました。胸骨圧迫をする位置ややり方を教わったり、AEDを使うときのやり方を教えてもらいました。2人以上で胸骨圧迫をすると、1人のときよりも楽にできました。もし人が倒れたら、先生や大人の人を呼んだりするのを初めにやり、いないときは自分ですることが大事だと思います。今日やったことを忘れないで、生きていきたいと思います。もし、人が倒れていても、あわてずに大事なことをしておきたいと思いました。





私は、BLS教室に参加して最初BLSというのはなんだろうと思いました。だけど、BLS というのは「Basic Life Support」の略ということがわかりました。私は、AED という言葉は知っていたけれど、どうやって使うのかがわからなかったので今日やり方をおそわってわかりました。もしもだれかが倒れてしまったら落ち着いてまず胸骨圧迫をして AED を使って人の命を救おうと思いました。また、私は胸骨圧迫というのは軽くおせばいいと思っていたけれど、胸の真ん中を強くおしてテンポよくやるということがわかりました。AED を使って電気ショックをした後も、たおれた人が目を開くまで胸骨圧迫を続けなければならないということがわかりました。AED はコンビニエンスストアにもあることが分かったので、だれかが倒れたらそれを使って人を助けようと思いました。



まず、AED の使い方があまり分かっていなかったので、そんな状態で、万が一のときにでくわしたら「危険だったな」と考えました。人形を使っての練習だったので、安心してできたけど、実際に起こったらパニックになつてできないと思いました。やっぱりこわいです。でも今回の授業で自分なりにできることが増えたと思います。



私は今まで、誰かが倒れてしまっても、自分は、大人の人を呼ぶ事しか出来ないと思っていました。ですが、胸骨圧迫や、AED のやり方を知って私にも人の命が救えるんだなどびっくりしました。誰かがたおれたら、みんなパニックになると思うので、私がみんなに声をかけて、倒れてしまった人を助けたいです。



私は、BLS 教室に参加して、AED の使い方を知りました。今まで、AED を見たことがありませんでしたが、これからは、どこに AED があるのかを探してみたいと思いました。さらに、胸骨圧迫を初めてしてみて、あんなに力がいるとは予想していませんでした。胸骨圧迫は、つかれてしまうので、「3・2・1」とかけ声をかけて、交代するということを知りました。そして、AED が「はなれてください」と言ったら、はなれないといけないので、普段から学校の放送をきちんと聞いて行動しようと思いました。心臓が停止してから脳がダメージを受け始めるまで、約 5 分で、救急車がとう着する時間は約 8.6 分なので、胸骨圧迫することが大事なんだなと思いました。胸骨圧迫をするときは、速く、強くおすことが大事だということを知りました。倒れている人を発見したら、大きな声で周りの人に知らせることも大事だと思います。



今日のBLS 教育で、AEDは聞いたことはあったけど、使い方が分からなくて、難しいんだろうな、とずっと思っていたけど、実際は、けっこう簡単だったので使えるなと思ったし、胸骨圧迫もつかれるけどできるようになったので、これもいざというときに使えるな、こういうの知れてよかったです。ありがとうございました。



私は、今まで目の前で人が倒れたりしているところを見たことはないですが、きっとあわてて何もできなかつたと思います。今日ならったことを活かして、1秒でも早く、1つでも多く「命」を守りたいと思います。



僕は今まで、AED という心臓に活を与える機械がある이라는のは、知っていましたが、僕が使う事は無いと思い込んでいて、難しいものだと決めつけ気にも留めませんでした。しかし今回の BLS 講習を受けて、ドラマの中で日常の中にも危険があるという事が分かりました。また、音声の記録でみんながさわいでいて、AED の音声がみんなに届いていない時がありました。僕は、そんな時こそ落ち付いてみんなに指示が出せるような人になりたいと思いました。また、胸骨圧迫の実習では、一程の姿勢を保ったまま、腕を動かさなければならないので、予想以上につかれました。初めて使った AED は少しドキドキして、本当に人が倒れた時は今回のように出来るか分かりませんが、うまくできたのだと思いました。

僕が今回の学習を通して、気付いた事は、救命をする時に、「何もできない人間」にはなりたくないと思いました。



私は「AED」の使い方がよく分からなかったけれど、今回の授業でよく分かりました。胸骨圧迫のやり方も教えてもらい、いざやってみると手が痛くなり、けっこう大変だということが分かりました。今日はマネキンでやったから少し心に余裕がもてたけれど、本当にこんなことがあったら、ちゃんとできるか心配なので、自分にできることを少しでも増やしておきたいです。



今日は私は、胸骨圧迫や、AED のやり方なども分かりました。全然知らない事もたくさん教えてもらいました。胸骨圧迫の時、リズムがよくわからなかったけどたくさんの人にやさしく教えてもらいました。他にも、友達と協力をしたりしました。もし身近な人がたおれてしまったら、1分、1秒でも早く助けてあげたいです。また今日習った事をしっかり家族に伝えてあげたいです。このような命の勉強はとても大切な事を知りました。



今日、僕は初めて知ったことがたくさんありました。胸骨圧迫は、手の平でやるのではなく、手の下の方で押さなければいけないとは知らなかったです。それと、AED のはる場所と力の入れ方も知らなかったです。倒れた時の音声を聞いた時、とても悲しい気持ちになりました。自分はそういう経験がないしいつ起きるか分からないので、ちゃんと使えるようにしておきたいと思いました。胸骨圧迫をするとき、意外と胸が沈むんだなと感じたし、あれを 1 分半やっているだけでも、けっこうしんどかったです。あれを救急車が来る 8 分半の間やらなくてはいけないととても大変だと思いました。こういう体験は 2 回目だったけれど、あまり覚えていなかったので、今日の体験がいい機会だったと思います。これからはこういう事が起きたとき、自信を持って対処できたらいいなと思います。今日はとてもいい経験ができました。



今日、初めて AED を使ったり、胸骨圧迫をしたりしました。人の命にかかわることなので、少しずかしいものだと思っていたけれど、冷静になって、落ち着いてやれば、自分にもできそうだな、と少し感じました。けれど、本当の人の体でやつたことがないし、実際の緊迫した雰囲気の中で、どれだけできるかは分からぬので少し不安もあります。でも、もし人が倒れているところに遭遇したらどうしたらよいのかのお手本を見せてくださったとき、NPO の方々がとてもかっこよくみました。人の命を救うことはとても大変だけれど、今日、自分にもできることを知れて、ほんとうによかったです。実際にこのような場面がないことを願いますが、もしこのような場面にあったら、自分ができることを精一杯やって、人の命を 1 つでも救いたいです。



今まで心臓マッサージや AED の存在は知っていましたが、間違ったやり方を覚えてしまっていたので、お話を聞いている間その間違った知識を友達に言っていた自分が恥ずかしかったです。ですが、今日正しい知識を得て、人形相手ですが自分なりに上手くできたと思うので、正しいやり方を友達や家族に教えていきたいです。そして、もし自分の前で誰かが倒れても冷静に考えて、的確な指示を出して倒れた人を助けたいです。そのため、僕はいつも声が小さいのですが、大きな声で質問に答えたり返事をして大きな声が出せるようになります。また、こういった体験授業などにも進んで参加ていき、心肺蘇生のテンポや AED のアナウンスがなくても、自己判断できるようになります。



教職員の方の感想



実際にお子さんを亡くされた方のお話だったので、いつもにも増して心に響いたし、しっかり学ぼうという気持ちにもなった。講義も映像を作つてわかりやすく、リアリティのある資料もありわかりやすかった。生徒にもぜひ聞かせたいと思う。

熱中症の生徒が出る中、大変役立つ講習会でした。生徒の AED 講習会を同じ教室で見ることは幾度もありましたが、自分自身で行うのは二度目で、一度目よりずっと丁寧に学ばせていただきました。本当にありがとうございました。もしもこの時にはすぐ動けるようになりたいと思います。

身边に設置されているAED－自動体外式除細動器(Automated External Defibrillator)

ハートスタート FRx+

倒れている人を見かけたら、どうしたらいいのでしょうか。フィリップスのAED(自動体外式除細動器)は、全世界(103か国)への総出荷台数が150万台を突破しました。日本においては3種類のAEDを提供しており、突然心肺停止からの救命率向上に貢献しています。

小児専用パッドが不要!

小児用キーで小児用モードエネルギーに変換できるので、低ランニングコストを実現できます。

ランクアップした堅牢性

プールサイドや工事現場、山岳地帯、雨天時の屋外など、様々な場面で活躍中です!
(固体物体/液体の侵入に対する保護、IP55、耐荷重約500kg、耐落下1.22mなど)
※ハートスタート HS1+と比較した場合

心肺蘇生法コーチング機能搭載

CPRの音声ガイドで、気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫の方法をサポートしてくれます。

ZOLL AED Plus

“目の前の命を救うために…
フル・レスキューAED”



雨や風の中でも 使用可能

動作温度は0~50℃まで可能です。

5年間消耗品の 追加購入不要 (※未使用の場合)



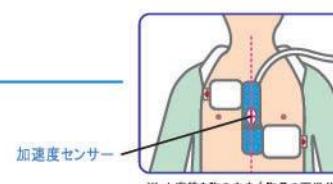
胸骨圧迫ヘルプ機能

音声ガイドとディスプレイ表示で、リアルタイムにフィードバックし、より質の高い胸骨圧迫へサポートします。

- AEDが音声にて、少なくとも5cm押すように指示します
- AEDが音声にて、100回/分に誘導します

慌てず適切に 操作できる様々な工夫

一体型の成人用パッドで、より簡単な装着。救命処置の一連の流れはイラストと音声ガイドで確認できます。



※十字線を胸の中央(胸骨の下半分)に

AED-2150

(製造販売:日本光電工業株式会社)

“わたしとハートのいいかんけい”日本光電のAED

操作方法をイラストで表示

音声ガイドに加えて、本体に搭載されている画面によりイラストメッセージ表示で操作の確認が可能。音声ガイドが聞き取りにくい環境でも操作できるようサポートします。



成人・小児モード切換スイッチ

スイッチを切り換えるだけで小児から成人まで対応成人・小児共通の電極パッドをご用意しています。



100回/分の動作音

電源ONから100回/分の動作音が開始! AEDが動作状態であることを示すと同時に、絶え間ない胸骨圧迫の実施を促します。



製品仕様比較

	ハートスタート FRx+	AED-2150	ZOLL AED Plus
バッテリ	リチウム二酸化マンガン電池	リチウムバッテリ	リチウムバッテリ10本
待機寿命	4年	約4年(NKPB-28271)	3年 ※AEDPlusWSの場合は5年
エネルギー出力	定格150J 成人:負荷50Ωで公称150ジュール 最大ビーグル電流32A(公称値) 小児:負荷50Ωで公称50ジュール 最大ビーグル電流19A(公称値)	漸増式 成人モード:1回目…150J、2回目…200J 3回目…200J 小児モード:1回目…50J、2回目…70J 3回目…70J	接続した除細動極により自動選択 成人:120、150、200J (初期設定) 小児:50、70、85J (初期設定)
充電時間	8秒以内	8秒以内	10秒以内
出力波形	二相性切頭指型波形	切取指數関数一定電力二相性波形	定電流二相性波形(RBW波形)
質量	1.6kg	2.8kg	3.1kg
保証期間(耐用期間)	5(7)年	5(6)年	5年

※本記事は、各製造販売メーカーのホームページ掲載のAED製品仕様を参考に作成し、メーカーの了承を得て掲載しています。